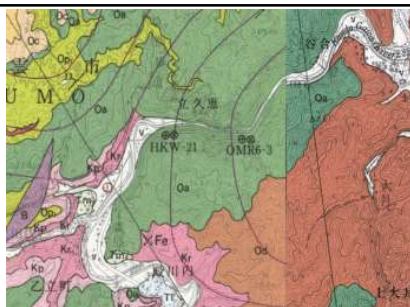


地質サイトカード

カードNo.		C-⑥-4	通しNo.	46	作成日	2025/4/28		
サイト名		出雲の溪谷～ ^{たちくえきょう} 立久恵峡						
基本情報	エリア	南部丘陵地 探訪サイト					位置情報 b-4	
	区分	☒ 地質・地形		☒ 生態				☐ 文化
	利用価値	☒ 科学		☒ 教育				☒ 観光・ツアー
	所在地	出雲市乙立町						
	アクセス	山陰道 出雲ICから約15km、約20分。						
	周辺施設	☒ トイレ ☐ 売店 ☐ 飲食店 ☒ 駐車場(70台) ☐ ウォーキングコース ☐ サイクリングコース ☐ 観光施設(わかあゆの里公園)						
	看板整備	ジオパーク解説看板1枚設置。この他各所に看板あり。						
	留意点							
保護・保全	法規制・関連団体等	国指定名勝天然記念物、島根県指定県立自然公園 立久恵峡県立自然公園						
	保全メモ							
サイトの解説	みどころ	約1500万年前に形成された安山岩・デイサイト溶岩・火砕岩が浸食されてできた溪谷。						
	地質・地形	神戸川上流2kmに亘る峡谷でその両岸には川面から50m～150m位の落差のある切り立った崖が一面に広がっている。特に左岸(西側)には眼前に絶景が広がっており、年間を通して観光客が多い。その断崖は新第三紀中新世大森層の安山岩～デイサイト質溶岩及び同質火砕岩からできている。固まった溶岩が水蒸気爆発で角礫状になりそれらの岩片が厚く堆積してできた火山角礫岩層が顕著である。中腹を巡るように自然歩道が整備されていて、その道脇には垂円礫を含む礫層も観察されるところから浅い水域で堆積した時期があったと考えられる。立久恵峡の断崖は上下方向の節理に沿って風化・侵食が進み長い間に屏風状、あるいは杭のような形状になっている。						
歴史・文化 生物・生態 等		立久恵峡という呼び名は崖の様子が杭が立っているようにみえるところから立杭(たちくい)と呼ばれ、その後立久恵と呼ばれるようになったと言われている。 景色のよさから国の名勝天然記念物及び島根県指定県立自然公園、に指定されている。「山陰の耶馬溪」の異名を持つ景勝地である。 礫岩の表面は苔類やシダ類が生えやすくイワヒバなど貴重な植物が観察できる。また、特定植物群落である「立久恵峡断崖地食性」がある。固有種であるオオメノマンネングサ、オッタチカンギク、絶滅危惧種であるイワギリソウなどの生育が知られている。						
	写真・図等							
参考文献		島根の大地見どころガイド(島根地質百選)、島根の地形・景観・奇岩、島根県の地質						

位置情報

b-4